

「facebook は拡張された現実空間か」



拝復。熊谷 39.8 度。7 月でも 8 月でもない 6 月に。信じられません。この原稿を書いているのは 6 月の 28 日ですが、今日も 30 度越えという予報です。弊社の事務所では三方に窓がありますので全開にしたうえで扇風機を使っていますが、やはり「じとり」といやな汗をかきます。これから約 3 ヶ月間日本は熱帯になります。皆さんもくれぐれもお体にお気をつけください。こまめな水分補給と適度な塩分と休息。これが鍵です。

さて今回の話題は「facebook」です。ソーシャル・メディアと呼ばれるモノの中で世界最大の利用者を抱えています。その数、**全世界で 7 億人**。地球全人口の 1 割を超えています。このソーシャル・メディアの生まれた**米国では、ネットを利用している人の実に 7 割が登録しています。しかもそのうちの 50%は毎日ログインをしています。**これは考えられない数字です。「facebook」を通じて大統領選挙をはじめとしてあらゆる法案の審議が出来るのではないのでしょうか。古代ローマでしか実現しなかった、直接民主主義の始まりです。少なくとも米国では過去に全く例を見なかった、**バーチャリアル・ソサエティ**（造語）が誕生していると言っている。Second Life や My space がなしえなかった未来がここに出現しています。

日本は出遅れました。「facebook」の担当者のお話では日本の登録者数は約 400 万人。これが今、急増しています。私も 3 ヶ月ほど前から使い始めました。非常に使いやすい。ツイッターはすっかり覗かなくなっていました。日本語対応がようやくこなれてきたと感じます。

先日、ある驚くべき事態が私の目の前で起こりました。私は昨年から茨城県にある「流通経済大学」で非常勤講師として教鞭をとっています。先日の授業は「facebook」について。授業が始まる前の少しの時間を使って講義の準備をしていました。その時、ふと「facebook」の画面をそのまま見せたほうが面白いだろうと思って、「facebook」に書き込みをしました。

私>「流通経済大学で講義の準備中。10:40～テーマは「facebook」。このウォールを見せるので誰か何かを書き込んでください。学生向けのエールがうれしいな。よろしくお願いします。」

授業が始まり、半ばくらいに「実は先ほど皆さんにメッセージをもらえるように書き込みをしました。ちょっと見てみましょう」。そこにはわずか 30 分の間に 4 人からメッセージが残されていました。

I さん>流通経済大 柳本さんの受講者の皆さんへ

「皆さんはとても良い時期に学生をしていると思います。

就職率がどうこうというのではなく、社会の構造変化の真っただ中にある、と言う意味で。こんな変化を学生という立場からニュートラルに俯瞰できるというのは恵まれたことです。

ソーシャルメディアと言われている一連のメディアを小手先のマーケティングツールだとは思わない方がいいです。」

S さん>「今日のテーマは「facebook」だそうですね。是非、このソーシャルメディアを有効活用してください。特に facebook の実名登録メディアとしての価値を考えてみてください。」

N さん>「勉強しないとこの人みたいになるぞ!」(笑)

ST さん>FB や Twitter ではすごい人とでも簡単につながることができます。そしてそれは人生の最大の財産になることでしょう。どんどん友だち申請やフォローをしてみてください！新しい世界が拓けます。

学生もびっくりしていましたが、一番驚いたのは私かもしれません。わずか 30 分の間に私のウォール（掲示板みたいなものです）を見て、わざわざ丁寧なメッセージを送ってきてくれたのです。何が起こったのでしょうか。書き込んでくれたのはいずれも私のリアルな友人でした。

「facebook」の最大の特徴は「**実名による登録**」であるということです。「柳本信一」そのままです。年齢も学歴も会社歴もそのままです。さらには顔写真もホンモノです



。相手が誰だかを知っていて、あいつなら本当に授業のネタにこんなことを考えそうだな、ということがわかっているから書き込んでくれたのだと思います。これが匿名だったらどうか？本当に授業で使うのか？そもそも流通経済大学の講師って本当か？書き込んだことが本当に学生に届くのか？いろいろ逡巡すると思います。上記のコメントは学生への先輩からの心からのアドバイスである、と同時に、私への親愛の情の表現でもあります。だから、学生は驚き、私はとてもうれしかったのです。

実は私は「facebook」そのものには一年間くらい前に登録をしていました。ところが当時は日本語版の出来が悪く使い物になりませんでした。何よりそこに誰もいなかったのです(笑)。ソーシャル・メディアの場合ある規模を超えないとブレイクはしません。多くの人がミクシィを使っている理由は「みんなが使っているから」なのです。実は「facebook」でも日本語対応を必死にやっていたのです。漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベット。日本語は世界でも最も難しい言語の一つです。これによろやく「facebook」は追いついた。

少し前のことに話を戻します。4月くらいから、「お友達メール」が増え始めました。何回かアクセスするうちに、以前にはほとんどいなかった友人・知人がたくさんいることに気が付きました。全て実名ですから、「あいつ、使っているかな？→検索→お、いたいた」(笑)。それから一ヶ月くらいで一桁だった「友達」は300人近くに増えていました。「facebook」日本代表の方の予測では年度内に登録者が1000万人近くになる、とのことでした。私はツイッターはやっていましたがミクシィはほとんど使っていませんでした。ミクシィは実名登録者が10%前後。ハンドルネームでのお付き合いですね。私も「コペル」でした(私が最初に飼った犬の名前でした)。実際に会うわけでもなし、係わり合いは薄いものでした。

「facebook」は全く異なりました。全員実名ですから、最初にしたことは「**これまでのリアルな友達を探す**」ことでした。わたしはかつてリクルートと言う会社に在籍していました。この会社はとても不思議な会社ですが、**退職したメンバー同士がとても仲がいいのです(笑)**。それがあつという間に「facebook」内に「MR(元リクルート)会」のコネクションをほぼ一ヶ月で完成させてしまったのです。既にそこから**実際に会って仕事の話をしたり、飲み**にいたり、**福島の人にエールを送るチャリティゴルフの会を結成して実際に動いたりしています**。バーチャル空間と言われていたネット上のやり取りが現実とリンクし始めました。これは現実社会の拡張に他ならないのではないのでしょうか。

しかし、ネットを利用しない人、あまり使わない人からは「**そんなものをやっても何が楽しいの？**」と聞かれたことがあります。「う〜ん、楽しいですよ^^;」。その答えは「**元々人間はソーシャルな生き物だから**」だと思います。仙人様でもない限りたった一人で生きていくことは出来ませんよね。もしいたら、その人は「ヒト」であって「人間」ではありません。太古の昔から**家族、部族、地域、国、と人間はソーシャルな関係を拡張し続けました**。ただし、そ



れは恐ろしくチープなコミュニケーション手段しかなかった。洞穴の中の絵、口伝え、手紙、印刷物、モールス信号、電話、メールそして「facebook」。ようやく人類は誰とでも瞬時につながることの出来る道具を発明したのだと思います。先日、シンガポールの学生から友達申請が来ました。多少無理をして英語でコミュニケーションをしています。彼は「原発事故」のこの事実を知りたいがっています。出来るだけの英語で返信をしています。マスコミからではなく、そこに住んでいる人のリアルな生活の情報を直接に取得できる。これが「facebook」の真骨頂であり、多くの人が使う理由だと思います。

一方、「facebook」の最大の特徴は「実名である」ことであるということは、**自分の発言に実生活と同様に注意を払うことが必要になります**。当然ですね。楽しいことばかりではありません。また、自分が何気なくこぼした一言が思いもかけない波紋を呼ぶこともあります。

これが2ちゃんねる、ツイッター、ミクシィと全く異なることなのです。ツイッターは実名登録の人もいますが、140字以内でつぶやいても、どんどん流れていってストックをするという発想

がありません。ある種の無責任発言も可能だったわけです。2ちゃんねる  はネットの世界での「肥溜め」みたいなものだと思っています（これも問題発言か）（笑）。ほぼ完全な匿名の世界では何を言っても責任も処罰もありません。「facebook」では実生活と同じように、「社会性を持って」対峙しなければなりません。もっとも、発言に気をつければ「自分とちょっと違う自分」に変身したりすることは可能です。出会い系とかには有効かも（笑）。

実生活と同じですから、下手をすると上司がいたり、お客様の担当者がいたりする可能性もあります。家に帰ってまで上司とコミュニケーションをとるといのは、私にとってはあまり愉快なものではありません。「facebook」では特定の人物に見られる情報をコントロールすることが可能です。この辺は「facebook」の機能がとても優れています。上司には上司向けの情報。

「facebook」がこれまでのソーシャルメディアと異なるもう一つの点は、「オープン」であることです。そして、その中の機能としてネットブラウザ、写真・動画等投稿サイト、ツイッターの



機能を兼ね備えていることです。先にも書きましたとおり、私はツイッターをほとんど見なくなってしまいました。あのばらばらな文脈の中から何かを探すのはとても難しく時間が足りません。テーマが決まっていればツイッターも悪くはないのですが。

「facebook」は人類がこれまで獲得したあらゆるメディアの中で最大の存在です。中東では二つの国の独裁政権が倒れました。無限に近い可能性を秘めたメディアなのです。これをお読みの方もぜひ参加してください。そして私と友達になってください。ネットのテクノロジーに支えられた現実空間の拡張を楽しみましょう。そんなもので疲れたくないですか？大丈夫です、疲れたら休めばいいのです（笑）。

相変わらず厳しい状況が続いております。何かあればぜひ一声かけてください。m(_ _)m。

ブログも毎日更新しています！（週休二日で）（笑）。 <http://rresearch.blog103.fc2.com/>

株式会社 Bomb Marketing 〒185-0023 東京都国分寺市西元町 2-16-18 日建工事第一ビル 302

Tel : 042-300-0533 mobile : 090-7428-8999 mail : ryubon@kkd.biglobe.ne.jp